

社会教育の大切さ

生涯学習でまちづくり

生活が多様化し高齢化が進む現在、地域の「協働」が不可欠です。これに伴い、生涯学習では、地域における「社会教育」の役割がますます重要に。ここでは、今年「全国社会教育研究大会」が開催される本市の、生涯学習社会における社会教育の取り組みについてお知らせします。

問い合わせは生涯学習課 890-5824へ。

「生涯学習」とは「社会教育」も含めた、自らが生涯を通して行うすべての学習活動です。いつでも、どこでも、誰もが主体的に学ぶことができるような生涯学習社会の形成が、現代社会の目標となっています。

生きがいのある充実した人生を求めて、公共や民間などのさまざまな施設や講習を活用し、自ら学習する人は急速に増えてきました。公共施設や民間のセミナーなどでは多様な講座が開かれています。本市でも各地区公民館で「公民館講座」を実施。これらを活用して、環境について学んだり、健康のことを学習したり、歴史を訪ねたりすることは、毎日の生活に潤いを与えます。さらに、受講後に自主的な学習グループをつくり、地域の仲間を誘って活動を続ける意欲的な人もいます。

これらの活動は、個人的な学



講座参加の間に地域の人が託児

習意欲を満たすだけでなく、学習で得たものを地域に還元することで、「人づくり」や「まちづくり」の一端を担っているとも考えられます。



千吉良 寛さん

社会教育委員会議長千吉良議長に聞きました 「社会教育」って何

教育の目的や役割を、一本の樹木に例えると、根が家庭での教育です。根がしっかりとついたら、養分や水を吸収できなくなれば良い木は育ちません。家庭がしっかりと健康でなければならぬのです。次い

で、根から伸びた幹が学校教育を支える大切な柱です。幹から枝が張り、葉を付ける。これが社会教育。光合成を行い、木を成長させ生命を保ちます。やがて花が咲き実を付け、全体がさらに充実していく。このようにそれぞれが有機的に結び付き、一人ひとりの人間を充実させ、社会全体を豊かにしていくことが生涯学習ともいえるでしょう。

また、社会教育の会議で「公民」という言葉をよく聞きます。「公民」とは社会の一員として

本市では、このような生涯学習活動を推進。人づくりを基本として、まちを愛しお互いに尊重し助け合つ、人間性豊かな地域社会づくりを目指しています。

□生涯学習奨励員制度

市民の皆さんが生涯学習を理解、実践しやすいように、本市では、推進役となる「生涯学習奨励員制度」を昭和六十一年、全国に先駆けて設けました。現在、各地域で二百三十一人の生涯学習奨励員が、学習相談や地域での課題についての講演会や講座、各町の広報紙の発行など、さまざまな活躍をしています。



の自覚を持ち、「私」と「公」を判別して、「私」の立場から「公」を考えられる人を指すと思います。

社会教育施設の中心になるのが公民館。まさに「公」をつくる場です。「公民」を自覚した人々が集まってこそ良い地域が生まれ、「自治」が育つていきます。「自治」は自ら治めること。「公民」と「自治」は社会教育の基本です。

□社会教育の重要性を見直し

今日、わたしたちの暮らしは地域の連帯感が薄れ、高齢者の介護、子育て支援、リサイクル推進など、多くの課題に直面しています。これらを解決するためには、地域全体で問題点を洗い出し、「協働」して取り組むことが重要です。

生涯学習活動には、生きがいづくりとして、学習意欲を満たすという個人的な側面とともに、地域の課題に向けた取り組みや文化の向上など社会的な側面もあります。現在、この両面のバランスが失われがちで社会教育